



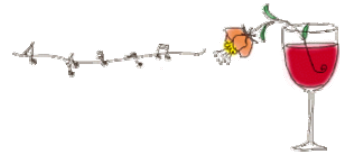
…『キラキラ』の由来…

NPO・ボランティアなどの活動が活発になり、多くの市民の顔がキラキラ輝くようにという願いを込めました。

なくそう迷惑行為！モラル・マナーアップ北九州

NO:68 平成19年12月15日

つばやきサロン



一番のやすらぎ…

庭の柿の木が5個ほどの果実を付けました。少しずつ赤みを増して、毎日食べられる日を楽しみに眺めています。でも、ある日、気がつきました。そんな思いで眺めているのは私だけではありませんでした。近くの電柱のてっぺんから、「ま〜だかな〜」と待っているのはカラスです。柿をくわえて飛び去る絵本の1ページを思い出して、なぜか「柿とカラスは似合うなあ」と感心したり、「一番おいしいのはあげるから、全部食べてしまわないでね」と話しかけてみたりしています。

先日から、家の裏手にある公園の改修工事が始まりました。大きな重機が毎日うなり声をあげて働いています。大きくて古い木々が根こそぎ掘り起こされて整地が進んでいます。夏になると沢山のセミの子どもたちが木の根元から地上に這い出てきていたのに……。きっと今の時期はサナギになって冬眠していたはずです。みんな掘り起こされて死んでしまったのでしょうか。来年の夏は公園からセミの声が聞こえてこないかもしれません。新しくて利用しやすい公園になるのは嬉しいけれど、また自然が遠のいてしまう寂しさを感じずにはおれません。

そういえば、自然がどんどん遠くなっています。小川のせせらぎを聞くことも、アメンボやミズスマシを見かけることもほとんどなくなりました。それでも、我が家の庭には、まだ自然が残っています。アゲハチョウが飛んでいたり、足元をトカゲがチョロチョロと走りすぎるのを見かけるとホッとしてしまいます。いつも、動物たちとともに自然を身近に感じながら生活していきたい、それが一番のやすらぎだと柿を眺めながら改めて思っている今日この頃です。

社団法人北九州市障害福祉ボランティア協会

事務局長 古賀 由美子



今年も一年が終わろうとしています。

人間を含む自然界の生物にも同じように時は過ぎていきますね…。

第73回・サポートセンターの日/2007・11・26

…NPO講演会…

地域の力につなげる！
～市民・企業・行政のパートナーシップとは～



講師：岸田 眞代氏

NPO法人パートナーシップ・サポートセンター代表理事

◆◆キーワード

今、時代のキーワードは「パートナーシップ」です。市民・企業・行政の立場の違いを超えて、共生へ、パートナーシップの時代へと、新たな模索が始まりました。

阪神・淡路大震災をきっかけに、企業は「企業市民」としての責任と自覚をますます深め、様々なボランティアや市民活動は、「NPO」（民間非営利組織）として新たな顔を見せ始めました。地域における企業とNPOはそれぞれが自分らしさを発揮し、豊かな市民社会の実現を目指し、今社会のあり方を問い直す変革の時代に入ったといえるでしょう。同時にそれは、社会を構成するすべての人が、社会のあらゆる場で、パートナーシップを模索する新たな時代でもあります。

◆◆パートナーシップ・サポートセンター

女性と男性、日本と外国、そして企業とNPO……すべて対等な関係でいてこそ、「パートナーシップ」です。「個」としての自立を前提に、対等な関係を結んでいくのです。そこに、たとえ対立や意見の食い違いがあったとしても、互いを理解し尊重し共通の目的に向かって、パートナーとして高め合い、互いに自己変革を図りながらともに喜びを見出せる関係を作り上げていきます。そうした「パートナーシップ」の考えを、広く深く、そして強く求めて、私たちは『パートナーシップ・サポートセンター』（以下サポートセンター）を設立しました。

きっかけは1993年に初めてアメリカのNPOを訪ね、96年に「企業とNPOのパートナーシップ・ツアー」を企画し、企業の方たちとともにアメリカのNPOを視察したことです。

サポートセンターの理念は、すべての人が個人として尊重される豊かな市民社会の実現を目指して、地域における企業とNPOのパートナーシップを中心に、社会のさまざまな場におけるパートナーシップの形

成に貢献するというものです。もちろんこの理念は「CSR」と無関係ではありません。

※「CSR」：Corporate Social Responsibility（企業の社会的責任）の略です。

◆◆サポートセンターのCSR

サポートセンターでは「CSR」を「企業経営において、ステークホルダーに対する説明責任や協働等を通じて、社会における企業のあり方や価値観などを問い直し、人権尊重、関係法令遵守はもとより、社会および環境等の問題を解決していくために、事業その他を通じそれぞれの存在意義を具現化していくこと」と定義づけています。

それに基づき、「企業とNPOのパートナーシップ」の推進に貢献する活動として、「パートナーシップ大賞」事業を創設しました。目的は、NPOと企業の優れたパートナーシップ事例を選出し、表彰することによって、営利と非営利という本来相容れないと考えられていたNPOと企業の協働が可能であることを示し、その具体例によって協働の意味や価値、重要性を社会にアピールし、両者の協働を推進することにあります。

「パートナーシップ大賞」事業がそれ自体、社会的責任を伴うことを自覚しつつ、また全国の協働事業にとっての最先端を指し示す、あるいは社会に大きな意味のあるモデル事業として発展することを願っています。それがサポートセンターの使命でもあります。

◆◆今後

社会のあらゆる場で、ひとりひとりがそれぞれの持てる力を存分に発揮していくためにも、「パートナーシップ」のミッションを高く掲げ、企業もNPOも、そして行政も、ともに力を合わせてよりよい社会を築いていきたいものです。

◆◆定例ドクター講演 安保徹先生講演会
—病気にならない生き方革命—

身体のしくみや病気の成り立ちを総合的に理解して、元気に長生きしましょう。

○日時：2008年2月2日（土）
14:30開演（14:00開場）
○会場：北九州国際会議場（小倉北区浅野3丁目8-1）
○入場料：前売1,500円 当日2,000円
○講師：安保徹氏（新潟大学大学院歯学総合研究科教授）
○問合せ：NPO法人地域予防医学健康促進センター
TEL & FAX: 093-922-8628
E-mail: <mailto:akemi-jambo@nifty.com>

◆◆第1回 黄金発！ボランティア・スタート講座

商店街で生きた地域活動を実際に体験・体感していただける魅力的な講座です。

○日時：全5回
（基礎編）12月15日（土）、1月19日（土）
（応用編）2月2日（土）
（実践編）2月16日（土）、3月22日（土）
○時間：11:00～16:00（3月22日）
13:00～16:00（その他の日程）
○会場：こがね交茶店（小倉北区黄金商店街内）
○対象：ボランティアをこれから始めたい方はもちろん、すでに活動している方も大歓迎です。
○参加費：無料
（ただし、5回目は食費として300円いただきます。）
○問合せ：黄金まちNPOステーション
TEL & FAX: 093-980-9500
E-mail: mailto:koganemachi-npo-station@san.b

◆◆NPOセミナー「もっともっと！コース」

NPOとして活動を進める上で大切にしたい考え方などを体系的に学ぶことができるセミナーです。

○日程：全4コマ
1月26日（土）：協働①行政との協働
2月9日（土）：協働②企業との協働
2月23日（土）：ITカ
3月8日（土）：NPOの話聞くタイム
○時間：13:30～17:00（開場13:00）
○会場：男女共同参画センタームーブ5F 他
○参加費：無料
○定員：30名（原則としてNPO活動者が対象）
○主催：福岡県NPO・ボランティアセンター
○問合せ：特定非営利活動法人ふくおかNPOセンター
TEL 092-751-6042
FAX 092-751-6043
E-mail mailto:info@npo-an.com
<http://www.npo-an.com>

◆◆チェルノブイリ行ったつもり学習会2008

—21年目のチェルノブイリ帰国報告会—

チェルノブイリ原発事故の被災地ベラルーシを訪問した調査団による帰国報告会を行います。また、甲状腺ガン検診プロジェクトの報告もあわせて行います。

○日時：2008年1月12日（土）
18:30～20:30
○会場：レディスやはた2F 第二講習室
○参加費：資料代300円（コーヒー1杯サービス）
○問合せ：NPO法人チェルノブイリ医療支援ネットワーク
TEL & FAX: 093-203-5282
E-mail mailto:iimu@cher9.to/
<http://www.cher9.to/>



★平成20年度（第7回）「環境NPO助成」

「環境と経済との調和」に資する活動、「環境と科学技術との調和」に資する活動に助成します。

★助成金額：1件あたりの上限150万円
★応募締切：2008年1月25日（金）当日消印有効

★財団法人日立環境財団
〒101-8010
東京都千代田区外神田町4丁目14番地1号
秋葉原UDXビル21階
TEL 03-3257-0851
FAX 03-3257-0854
<http://www.hitachi-zaidan.org/kankyo/index.html>

助成金

★「セブン・イレブンみどりの基金」★

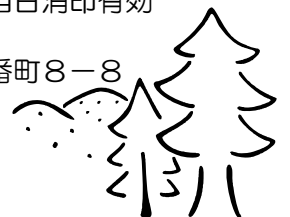
セブン・イレブン店頭へ寄せられた市民（＝お客様）からの募金で、地域の市民の環境活動を支援する助成を行っています。

- ①環境市民活動助成
1. 活動助成 2. NPO法人格取得助成 3. モデル事業助成
4. 自立事業助成
②地域美化活動助成

1. 緑化植花活動助成 2. 地域清掃活動助成
★助成の種類で助成内容や対象団体などが異なりますので、ご確認ください。

★応募締切：2008年1月31日（木）当日消印有効

★セブン・イレブンみどりの基金
〒102-8455 東京都千代田区二番町8-8
TEL 03-6238-3872
FAX: 03-3261-2513
E-mail: oubo.08@7midori.org
<http://www.7midori.org>



NPOメッセ in 関西2007

～分野、セクター、国境を超え、社会デザインの可能性を探る～

参加報告！



日時：12月1日（土）～3日（月）
会場：大阪経済大学 70周年記念館他
主催：NPOメッセ in 関西 2007 実行委員会
近畿労働金庫
特定非営利活動法人日本NPOセンター

…フォーラムに行ってきました。…

設立10周年を迎えた日本NPOセンターと、NPO法人への融資制度を先駆けて創設し、NPO支援に取り組んで来た近畿ろうきんが連携し、多くの人と共に、これからの社会のあり方や市民セクターの方向性を探ることを目的に“NPOメッセ”が開催されました。

関西の主要なNPO支援組織の協力で、多様かつ多角的な視点で、これからの市民セクターの10年をイメージし、どのような社会を描いて行くべきか、ゲストや参加者の皆さんで探ろうというものでした。

特徴的だったのは、貧困層の自立基盤の支援によるノーベル平和賞の受賞で世界的に注目を集めているバングラデシュの「グラミン銀行」の方をはじめ、中国、韓国からもゲストが招かれたことです。

私たちは2日（日）の市民活動フォーラム 第5分科会「NPO支援」に参加しましたのでその様子をご報告します！

12月2日（日）市民活動フォーラム

第5分科会：NPO支援 ～NPO支援の現状は、NPOの自立を進めているか～



●コーディネーター

○早瀬 昇氏

社会福祉法人大阪ボランティア協会常任理事・事務局長／
特定非営利活動法人日本NPOセンター副代表理事

●パネラー

○浅野 令子氏

淡海ネットワークセンター（財団法人淡海文化振興財団）
常務理事兼事務局長

○柳瀬 真佐子氏

特定非営利活動法人関西こども文化協会代表理事

○堀川 浩介氏

財団法人大阪コミュニティ財団専務理事

○金田 昇一氏

株式会社大和証券グループ本社 CSR 室 次長

…早瀬 昇氏…

「市民活動は基本的に自発的なものである。その自発性が特徴でもあり、また弱点ともなり得る。なぜなら、市民活動はするかしないかは全く自由であり、その活動の基準が無いからである。そのため、頑張る人が無理を重ね、疲労と不信の悪循環に陥りやすいのである。そこで、様々な側面からの支援というものが必要不可欠となる。今回は、これまでの支援の実情を踏まえ、特にNPOの自律の視点から議論を深めたい。」

…パネラーのみなさん…

○浅野 令子氏

淡海ネットワークセンター（財団法人淡海文化振興財団）常務理事兼事務局長

滋賀県の市民活動、NPOをサポートする総合支援センターです。米国留学経験やNPO法人にいた頃の実体験を元にNPO側の視点からの協働についてのお話や、中間支援組織として、団体、企業、地域を繋げる支援について、具体例を挙げてお話いただきました。

○柳瀬 真佐子氏

特定非営利活動法人関西こども文化協会代表理事

支援を受ける立場でありながら、様々な中間支援の役割も果たしている団体です。「教育」「子育て」「子どもの権利条約推進」等の分野で、市民団体などの活動推進のための仕組みづくりや相談、助言を行っています。近年は、企業や行政機関からの相談も増え、行政機関やNPOへ、子育て支援などの施策に向けての提言も積極的に行っているそうです。



○堀川 浩介氏

財団法人大阪コミュニティ財団 専務理事

基金への寄付者と非営利団体を繋ぐ支援をしている財団です。コミュニティ財団としては、我が国第一号、唯一の財団です。少額だけど助成したい、という方の気持ちを実現して、お年玉からでも助成ができ、また、基金には自分や関係者の名前を自由に付けることもできます。基金がどのように使われたのかという報告など、寄付者へのサービスを常に心がけ、その絆を大切にしているそうです。

○金田 晃一氏

株式会社大和証券グループ本社 CSR室 次長

企業側の立場として、望まれる協働についてのお話がありました。興味深かったのは、「ダイワ SRI ファンド」助成プログラムの「いのち」に取り組むNPOスタッフの育成への助成です。これまで対象となりにくかった通常活動における人件費等に助成する数少ないプログラムです。その評価が難しいところですが、今後その必要性、重要性はさらに高まるものと予想されることのお話でした。

感想

今回のフォーラムに参加して、4つの違う立場からの様々なNPO支援の現状を学ぶことができました。北九州市の市民活動・NPOを支援するサポートセンターの職員として、様々なニーズに対して、より適切な支援ができるよう日々スキルアップに努めていきたいと思えます。



市民活動サポートセンター
佐藤 千春

中間支援組織である市民活動サポートセンターの職員として、色々な側面から、適切な事例を提示できる知識と情報を身に付けておかなければいけないと思えました。そのために、常日頃から情報収集へのアンテナを張って、円滑な支援ができるように努力していきたいです。



市民活動サポートセンター
山田 美代子

NPO法人の申請・認証状況

北九州市のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成19年11月30日現在

	受理数	認証数	不認証数
【北九州】	228	221	—

11月に認証された特定非営利活動法人

○特定非営利活動法人はつらつ日本
(11月7日認証)



全国のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成19年10月31日現在

	受理数	認証数	不認証数
都道府県	31,485	30,296	319
【福岡県】	1,111	1,067	1
内閣府	2,847	2,613	114
全国計	34,332	32,909	433

「コミュニティビジネス起業セミナー」参加者の声

講師：蓼原 典明氏((特)えふネット福岡専務理事) 日程：11月10日(土)・24日(土)

山中 秀正さん

ビジネスは、いやいややるのか、みんなの困っていることを楽しんでやるのか。そうなんです、地域の人たちが困っていることを地域の人たちと助け合いながら事業としてビジネス化していく。これこそが、今回のセミナーの研修だったんです。NPOなんて、好きな人が集まってわいわいやってればいいなんてとんでもない。まさに「目からうろこ」の体験がおきました。地域力がだんだん弱くなっているんですね。これをどうにかするのだ。みんなの目をキラキラにして、キラキラネットワークを作っていくのだ。

福崎 はるさん

一番印象的だったことは、空き店舗や高齢化など一見マイナスに思える「現状すべてが地域の資源となる」ということでした。地域への「前向きな強調と提案で小さな成功例を積み重ね」ながら、自分と将来をより明るく変えていこうと思います。コミュニティビジネスは社会的貢献性と営利性の美しいコラボレーションですね。蓼原先生、総務市民局地域振興課の皆さん、非常に充実したセミナーの開催ありがとうございました。



ワークショップ発表風景



蓼原 典明氏



ワークショップ風景



北九州市市民活動サポートセンター

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11-4
北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”1F

TEL 093-562-5309 FAX 093-562-5310

URL <http://www2.kid.ne.jp/v-net/> E-mail: support3@axel.ocn.ne.jp

市民活動サポートセンターでは、NPO・ボランティア活動に関する相談や情報の提供を行っています。また、団体間のネットワークづくりの促進のため、定期的な交流会を開催しています。

- ◆サポートセンターの日 …毎月テーマを変えて、交流会をしています。
- ◆専門相談員が相談に対応…月～土曜日 17:00～21:00
日曜・祝日 13:00～17:00
- ◆ミーティングコーナー…パーティションで仕切った無料の会議室。
※要予約
- ◆掲示板スペース…団体や活動に関するチラシ等を掲示しています。
- ◇利用時間◇ 月曜日～土曜日《10:00～21:00》
日曜日・祝日 《10:00～17:00》
【年末・年始のお休み】12月28日(金)～1月3日(木)

編集後記

今年も残り少なくなりました。2007年は皆さんにとってどんな一年でしたか？

私にとっては、新しい仕事との出会いに始まり、多くの素敵な出会いに恵まれた一年でした。一方で、常に時間に追われ、走り続け、気がつけば師走…といった本当に忙しい一年でもありました。一年を振り返りながら、何か大切なことを置き去りにしてきてはいないかと、ちょっぴり不安が頭をよぎったりもするのです。

来年は、もっとゆったりと、過ごせたらと思います。

by 